

僕の宇宙にはいつも君がいた

こんな気持ちを抱えて

なぜ生きなきやいけないの



あの時、愛を伝えられなかつた僕の、  
3つの“もしも”の世界。

LEWIS PICTURES INC. PRESENTS LEWIS PICTURES INC. PRODUCTION

PRODUCER KIM HEE-KYOUNG DIRECTOR BAEK SEUNG-BIN

SCREENPLAY BAEK SEUNG-BIN STARRING SIM HEE-SEOP, HONG KA-BIN, SHIN JOO-HYUP

CINEMATOGRAPHY BAEK SEUNG-BIN EDITING MOON IN-DAE, BAEK SEUNG-BIN MUSIC KOO JAWAN

WORLD SALES BY: HIVE FILMWORKS INC.

シム・ヒソブ ホン・サビン シン・ジュヒョブ ソン・チャンウイ キム・ジュリョン

監督・脚本・撮影:ベク・スンビン

2023年 / 韓国 / 韓国語 / 144分 / シネスコ / 5.1ch / カラー

原題: 昔なら、内日と 만나다 英題: So Long, See You Tomorrow 日本語字幕: コーフィアティス美恵

© Lewis Pictures All Rights Reserved

映画 G

提供: KDDI 配給: 日活 KDDI

彼に想いを伝えられなかつた1995年の秋。

25年後の僕は、テグ、ソウル、プサンで、

3つの運命を辿る——

1995年、テグ。不仲な両親や学校でいじめられる日々に鬱憤を募らせていたドンジョンは、カリスマ性溢れる男友達のカンヒヤンに恋をした。しかし、彼との穏やかな日常は思いがけない事件で終わりを迎える。カンヒヤンはテグを去ってしまう。想いを言葉にできず、後悔を抱えたまま大人になったドンジョンは、不幸で惨めだと感じる人生を消化しながら、ふと思う——「もしあの時、別の選択をしていれば…？」テグで高校教師になる運命、ソウルで大学教授になる運命、サンで父親になる運命。3つの異なる2020年秋を生きるドンジョンは、足りない何かを探し続け、やがて本当の自分を見つけて行く——。

当の自分を見つけて行く——。

今も愛を探して  
。ひじょうに  
憧れの彼との  
想いを告げられなかつた  
青年は、

別れから25年。

監督：ベク・スンビン「僕と春の日の約束」「葬式のメンバー(原題)」  
出演：シム・ヒソブ「あしたの少女」「バンドラ 小さな神の子供たち」  
ホン・サビン「脱走」「このろくでもない世界で」  
シン・ジュヒヨブ「無人島のディーバ」「同感～時が交差する初恋～」  
ソン・チャンウイ「かくれんぼ」「オレのことスキでしょ。」  
キム・ジュリヨン「イカゲーム」「涙の女王」

公式 × @Kcinema\_2025 公式サイト [aisansen.com/anomoshi/](http://aisansen.com/anomoshi/)

# —>ハコと春を約束する男、それが人間だ

第11回ソウル国際プライド映画祭オープニング作品として上映され、韓国で話題を呼んだ作品がいよいよ日本公開。青春時代のやるせなさを抱える男が思い描くのは、「もしも、あの時に戻れたら…」「もしも、愛を告白できていれば…」。誰もが一度は考えてしまう、人生の分岐点で“選ばなかつた”もう1つの道。別の選択をしていたら、どんな現在を生きていたのだろうか。——。そんな、後悔とも未練ともつかない気持ちで生きるすべての人へ贈りたい、「もしも」のペラルワールド。3つの人生を生きる男を演じたのは、「バンドラ小さな神の子供たち」のシム・ヒソブ。繊細で脆く複雑な心情を、確かな演技力で示した。その青年時代を、「このろくでもない世界」でソン・ジュンギと共に演し、注目を集めたホン・サビンが好演。さらに、「イカゲーム」のキム・ジュリヨンなどの他、「かくれんぼ」のソン・チャンウイが特別出演を果たす。メガホンを取ったのは、デビュー作『葬式のメンバー(原題)』で、ベルリン国際映画祭など海外の名だたる映画祭に招待され、インディペンデント映画界を代表する監督としての地位を築くベク・スンビン。心の奥底に仕舞い込んだ思いと向き合い、まだ知らない新たな自分に出会える、切なくも温かい、誰も観たことがない韓国映画のパラレルワールド傑作が誕生した。



10.31(金) 全国順次公開

ムビチケオンライン券 発売中!  
¥1,600(税込) ご購入はこちらから▶

